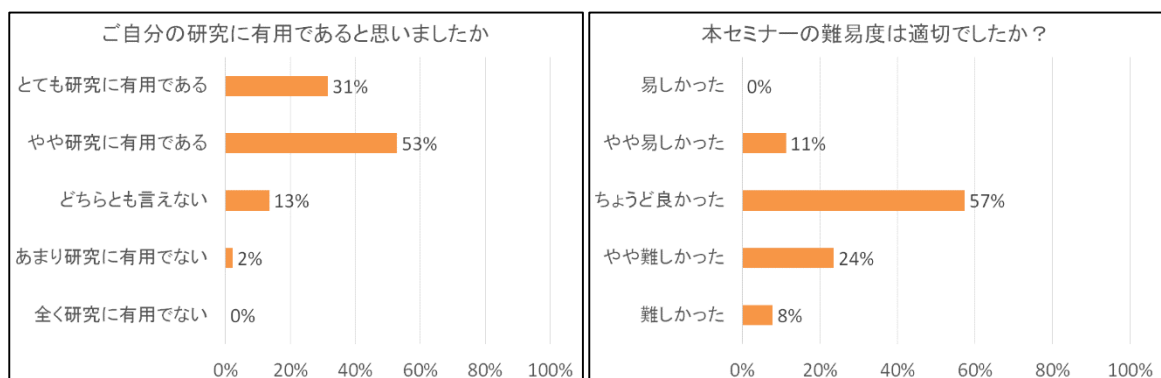
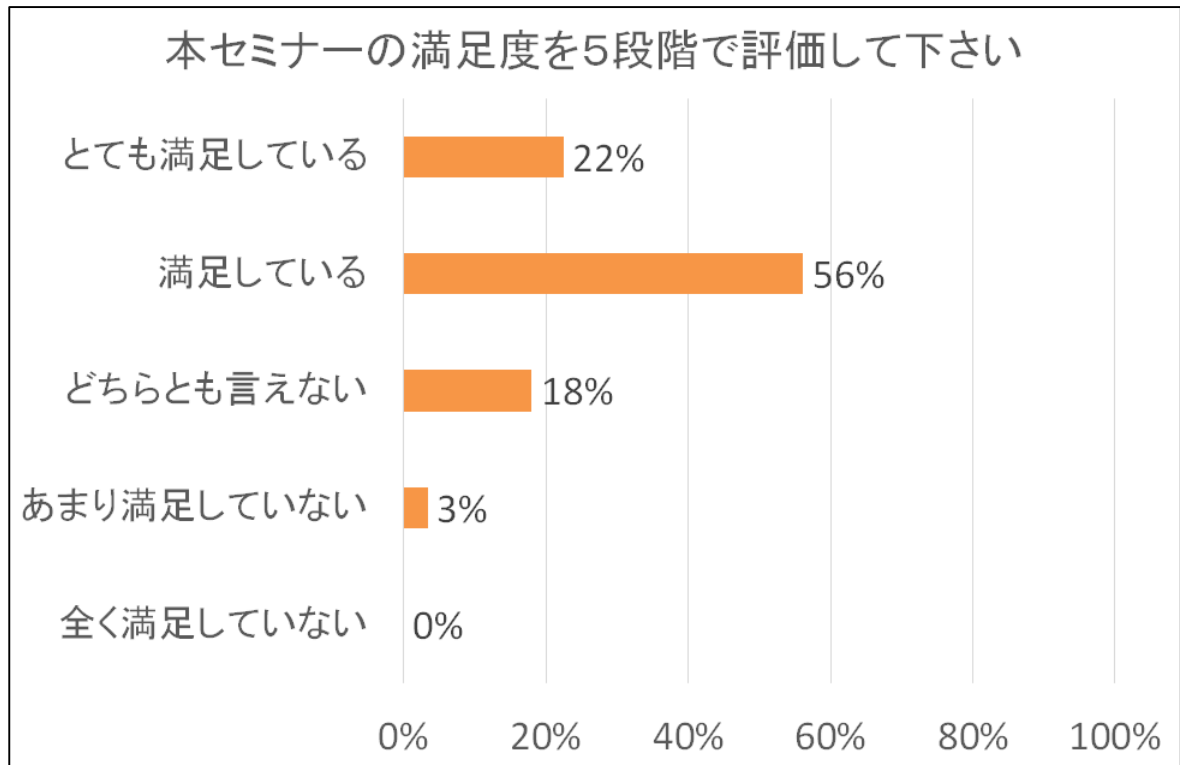


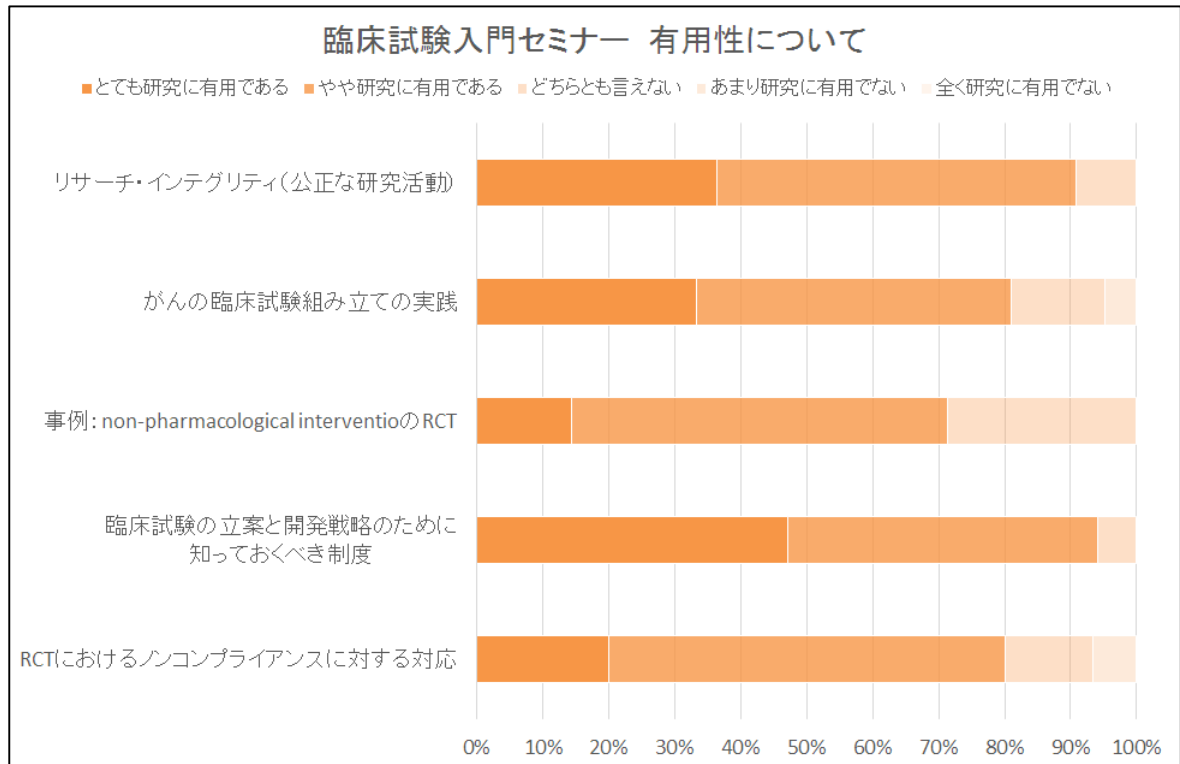
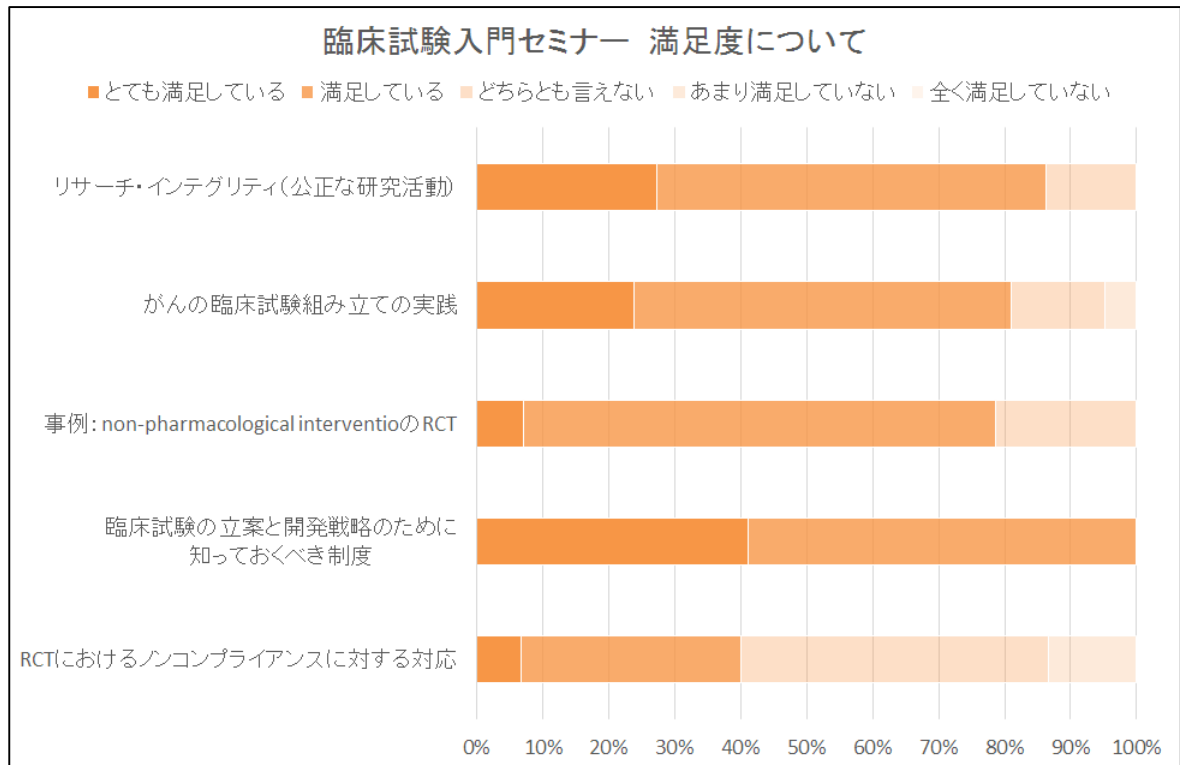
- 全体評価
 - 1. アンケート

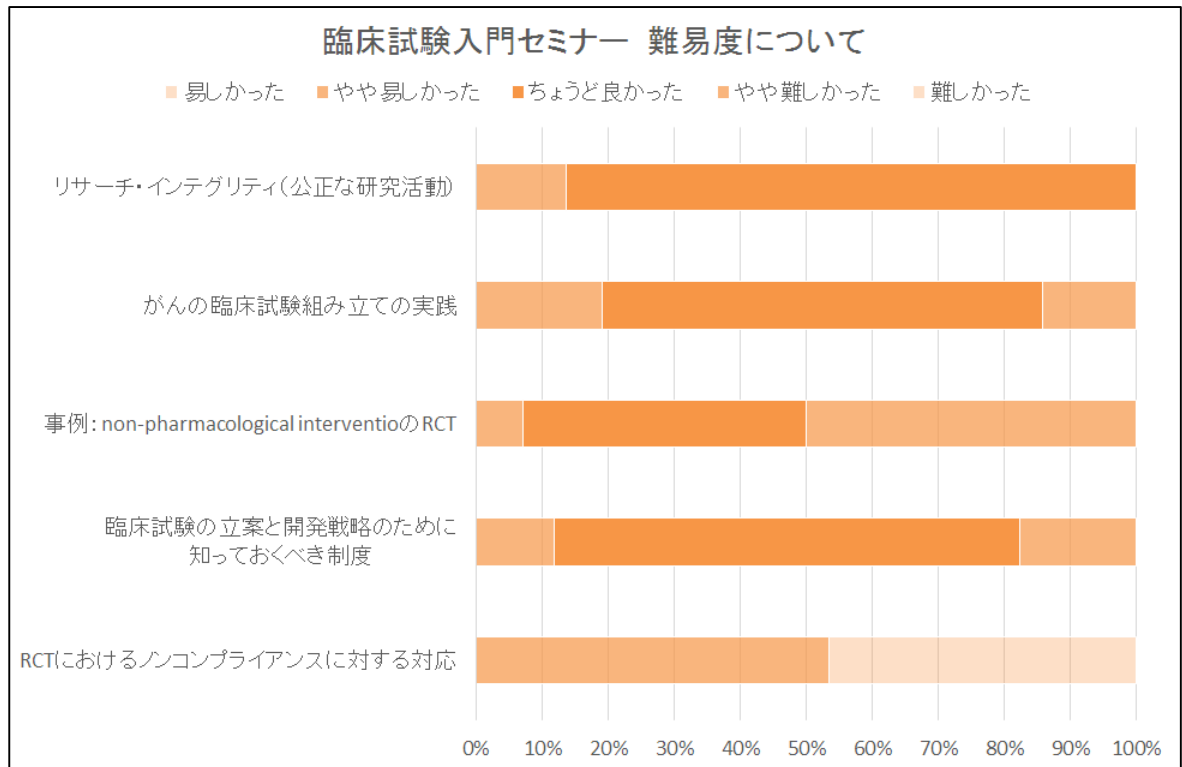


2. 受講者の声

- COI について学ぶことができました。今後自分が発表する際は、自発的に COI を開示していきたいと思います。
- 利益相反の考え方について、文献も交えてお聞きすることができ、理解が深まりました。
- 実際に起こった事例をもとに講義されていたので、イメージしやすかったです。
- 自分自身の研究に対する態度を省みると、ハッとすることが多くて良い経験となりました。
- 臨床試験初心者なので、概論や臨床試験の流れなども説明していただけて分かりやすかったです。自分が現在携わっている業務にも生かせる内容でしたので、有意義な講義でした。
- ガンの臨床試験に携わっています。プロトコル作成前の考え方など、貴重な話が聞けました。

- 各回評価
 1. アンケート





2. 第1回 リサーチ・インテグリティ（公正な研究活動） 中山健夫先生

満足度が高い方

- デジオバン問題は、「医師と製薬会社」試験結果を知っているものだけが携わっているから起きてしまったように思う。データマネージャーの重要性を認識しながら研究に携わっていきたい。
- 実際に中山先生の体験談や考えなどもお伺いできたのでよかったです。
- 大変勉強になりました。Fair play で研究に取り組んでいきたいと思います。
- COI について、米国では個人が講演料などを受け取らず、NPO などを利用して受け取っているために名前が出ないようにしているのでは、という話を聞いたことがあります。どうなのでしょう。

3. 第2回 がんの臨床試験組み立ての実践 武藤学先生

満足度が高い方

- 自身の知識を再確認することが出来ました。
とてもシンプルで基礎的なことほど、大事にしないといけませんが、ついつい目的を見失いがちになってしまうように思います。
今日の講義に参加できて、良かったです。
- 講義内容として、臨床研究デザインの基礎の基礎をお話しされたと思うが、初学者にとっては新鮮で面白かった。
one day work shop にまた参加して、具体的な事例を検討したいと思う。
- 実務的なことは少し難しくもありましたが、先生が分かりやすく噛み砕いて御説明くださったので、有難かったです。
何事にもいろいろな人の御意見を伺うのは、非常に大切なことであると分かりました。
- 優越性試験と非劣性試験について、具体例を交えて説明して頂いたので、よく分かりました。

4. 第3回 事例：non-pharmacological intervention の RCT 古川壽亮先生

満足度が高い方

- allocation consequence など、聞きなれない単語が出てきたので、意味が理解できず、少し難しいと感じた。
- スライドがあれば、メモしやすかったです。
- 行動科学の RCT においては、評価者の質を保つためのトレーニングを行うとお聞きし、研究者や研究補助者自身がツールとなって評価する研究の難しさを感じました。
- パワーポイントのスライドが流れていく講義が多い中、論文を元に先生がお話しされる今回の講義は、非常に集中できてよかったです。

5. 第4回 臨床試験の立案と開発戦略のために知っておくべき制度 川上浩司先生

満足度が高い方

- 医療機器の開発の仕組み等、お聞きすることができ勉強になりました。
- 知人に勧められて「永遠の0」を読んでいるのですが、そこで川上先生のセミナーを聞くと、「このままだとまた日本はアメリカに負けてしまうのでは」という気になりました。勿論日本人にも沢山、優れたところがあると思うのですが、その活かし方をよく考えていかないといけないと思いました。今後のセミナーにも大変期待しています。
- 内容が盛りだくさんでしたので、もう少し時間をかけていただけると（2回にわけるとか）もっとよかったですと思います。
- 臨床診療のみしか経験がない私にとっては次元が異なる世界で、日本や世界の医療が動いているのだと感じた。
- 川上先生今まで写真で拝見したことはありましたが、お話を聞くのは初めてで、いろいろな意味で強烈でした。
- 実際行われている臨床疫学研究についてのお話がとても興味深かったです。データの扱い方等詳しい講義を聞く機会があれば参加したいと思いました。

6. 第5回 RCT におけるノンコンプライアンスに対する対応 田中司朗先生

満足度が低い方

- 概要や問題点を知ることができたが、数式を示すのではなく、それぞれの項目をもう少し具体的にわかりやすく説明してほしかった。これから統計専門家を目指す方にはよいかもしれないが、臨床医にとって是非常にハードルの高い講義でした。
- 自分の理解力不足を感じました。いい内容の講義と思うのに、残念でした。